横浜市会議員（旭区選出）

古川なおき 第135号 レポート

自由民主党横浜市会議員 古川なおきの政務活動報告

2016年4月25日発行

熊本地震と横浜市の対策

熊本県熊本地方を中心とする地震によりお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

被災地では、現在も救援活動や避難所での支援活動が続いています。横浜市は、指定都市市長会の「広域・大規模災害時における指定都市市長会行動計画」に基づき他都市と連携を取りながら支援体制を整えました。また、市長を本部長とする「横浜市災害応援対策本部」を立ち上げ、全庁的に対応しています。

横浜市の被災地支援の対応状況ですが、物的支援としては、水缶 (34 万缶)、食料 (パン 3 万 7 千食、ビスケット 25 万 8 千食)、トイレパック (45 万個)、給水袋 (1 万袋) を 4 月 17 日に発送しました。また、人的支援として 4 月 17 日から職員を派遣し、6 月末までには延べ 550 名以上が現地に赴きます。内容としては、地震発生直後から物資の輸送や上下水道の復旧支援、調査を行い、その後、避難所の運営支援や被災者の健康相談や栄養相談、災害廃棄物の収集・運搬等を継続して行っています。地震発生後 1 ヶ月が経った現在は、熊本市の学校支援のため教育委員会から職員 (指導主事) を派遣し、また、被災者の心のケアを行うため精神医療の専門家のチームも現地へ入ります。横浜市医師会でも GW 中に医師、薬剤師、看護師を派遣し、避難所や救護所の支援にあたりました。横浜市内では、被災された方々の市営住宅への受入れや、緊急 避難児童生徒の学校への受け入れ等も行っています。今後も被災地における支援需要等を把握し、オール 横浜でさらなる支援を進めていきます。

募金箱は市庁舎と各区区役所及び行政サービスコーナー等に設置してあり、横浜市としての支援募金口座は下記の通りです。なお、横浜市公園指定管理者連絡会でも皆様におなじみの今川公園や玄海田公園などで募金できるようになっています。

私たち横浜市会議員も同じ政令指定都市の熊本市へ義援金を送らせていただき、神奈川自民党では 4 月 24 日（日）に横浜駅西口で募金活動を行わせていただき、募金は熊本県庁へ届けました。

今回の地震でも様々なことが課題となっていますが、東日本大震災の時のように、熊本でも避難所でプライバシーが守れず多くの方が窮屈に過ごされています。また、車中で避難生活していた方も多く、エコノミークラス症候群で亡くなられた方もいました。避難生活が長期になるとストレスも溜まり、様々な問題が出てきます。熊本県の全人口約 182 万人の 2 倍の約 370 万人が住む横浜で今回のように強い余震が続けば多くの方が避難場所に殺到することが予想されますが、ノロウィルスなどの感染症対策 (公衆衛生対策) や乳幼児やお体の不自由な方々への対応など、避難所生活のあり方は横浜市としても再考しなければならないと感じています。

一方、災害時には消防隊員や職員も被災する可能性があります。「横浜市災害時における自助及び共助の推進に関する条例」もありますが、『緊急事態になった時には人はあてにできない、自分しか頼る人はいない。』と思って、日頃から近所の人たちと顔見知りになり、水や食料、薬、などの備蓄に努め、ご家族との安否確認手段なども決めておくことが重要です。まず自らの安全を自分で確保して（自助）、近隣や地域の方々と助け合う「共助」の精神を持つことを、皆様にご理解いただきたいと思います。

大きな震災があるたびに思うことは、自然の前に人間は無力であるということです。利便性を追求し経済成長することは重要なことですが、自然によって人間は生かされているといった謙虚な気持ちを忘れないようにしたいと思います。

被災者の方々が一日も早く普通の暮らしに戻ることができることを心よりお祈りするとともに、私もがんばります。

横浜市会議員　古川直季

「横浜市　熊本地震募金」の専用口座

銀行名：　横浜銀行
支店名：　横浜市庁支店
口座番号：普通　6037606
口座名称：横浜市熊本地震募金
（ヨコハマシクマモトジシンボキン）

横浜銀行各支店からの振込手数料は、窓口扱いに限り無料です
※振込機からの場合は有料です

古川なおき プロフィール

県立希望ヶ丘高校・明治大学 卒業/明治大学公共政策大学院 修了/横浜銀行勤務後、衆議院議員秘書
平成７年4月　横浜市会議員初当選（26才最年少）
平成28年度：温暖化対策・環境創造・資源循環委員会/孤立を防ぐ地域づくり特別委員会副委員長/自民党横浜市会議員団所属
横浜市会ＦＣキャプテン/希望ヶ丘高校同窓会桜蔭会理事/横浜スキー協会会長/旭区サッカー協会顧問
旭区スポーツダンス協会顧問/旭区卓球協会顧問/旭区食品衛生協会顧問/旭区剣道連盟顧問

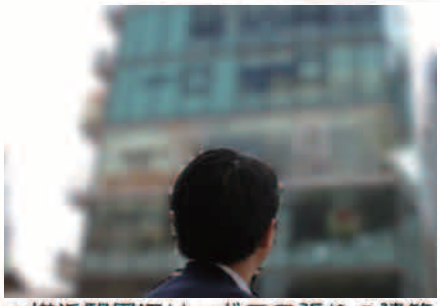
前向きプロジェクト まえPro

「災害時徒歩帰宅訓練」実際歩いて感じたこと。

「前向き！前向き！やってみよ！」
古川なおき事務所が取り組む様々な【前向きプロジェクト】をご紹介します。
ご興味のある方は、是非ご参加下さい！

地震により帰宅が困難になったことを想定し、横浜駅西口から希望ヶ丘まで実際に歩いてみました。

【経路】横浜駅西口出発 → 岡野町交差点･右折 → 浅間下交差点･左折 → 洪福寺交差点･右折 → 国道１６号 → 鶴ヶ峰交差点･左折 → 希望が丘事務所 【総距離】約 15ｋｍ 【所要時間】 約３時間２０分 （障害物が無い為スムーズ）



●横浜駅周辺は、ガラス張りの建築物や屋上や歩道に張り出した看板が多く、中には老朽化したものも見受けられ、地震の際には頭上にも注意が必要だと感じました。

●災害時帰宅支援ステーションのコンビニや、ガソリンスタンドの店頭にはシールが貼ってあり、①水道水の提供②トイレの使用③知り得た通行可能な道路に関する情報の提供など、可能な範囲でご協力くださることになっています。実際は発災後すぐは慌てて動かず、状況が落ち着いてから、飲食物も出来る限り自分で確保したうえで、行動開始する方が混乱が少なくて良いと感じました。

●洪福寺交差点を曲がり国道 16 号線を進むと「電線の地中化・無電柱化」が図られていました。電柱倒壊や断線が救援活動の妨げに繋がる可能性を考えると、幹線道路の無電柱化は安全です。今後、未整備の区間についても「電線の地中化・無電柱化」を要望したいと思います。また３人並んでも余裕のある歩道は、家路を急ぐ人々で溢れることを想定すると、歩きやすさがストレスを減らす一助となるため、歩道の整備も重要だと感じました。

●ビジネスシューズで歩くことはやはり大変でした。スニーカーや、手荷物を背負える簡易ナップサックを用意しておくなど、自宅だけでなく勤務先等でも必要な備えをしておくことが大切だと感じました。ぜひ皆様も、これを機に考えてみてはいかがでしょうか。

お気軽にご連絡ください。
FAX：045-366-9700 / TEL:391-4000
E-Mail：jm@furukawa2002.com

みなさまのご意見をお待ちしています！

古川なおき政務調査事務所
〒241-0825 横浜市旭区中希望が丘 199-1
希望ヶ丘駅より徒歩6分